

じえーぴーわん  
初心者向けJP1  
「JP1若葉道場」

JP1  
Version  
8

株式会社 日立製作所  
ソフトウェア事業部

2008年2月12日(火)

# Contents

- ▶ 1. 運用管理とは
- 2. JP1とは
- 3. 事例から学ぶJP1

JP1<sup>Version</sup>  
1.8

# 1-1. 運用管理とは？

## 運用とは

- (1)物の機能を生かして用いること。活用。  
「法の一をめぐって論争する」
- (2)金銭を利殖などの目的のために他の財産形態に変えること。  
「財産を一する」
- (3)運転。特に、操船。

## 管理とは

- (1)管轄・運営し、また処理や保守をすること。取り仕切ったり、よい状態を維持したりすること。  
「ビルを一する」「業務を一する」「国立公園の一」「品質一」「健康一」「一者」
- (2)私法上は、財産などについて、その性質を変更しない範囲で保存・利用・改良を目的とする行為。  
または、他人の事務について、その内容を現実化するための行為。

## 運用管理

物の機能を生かして用いたものを、運営・保守・維持すること

## 運用管理ソフトウェア

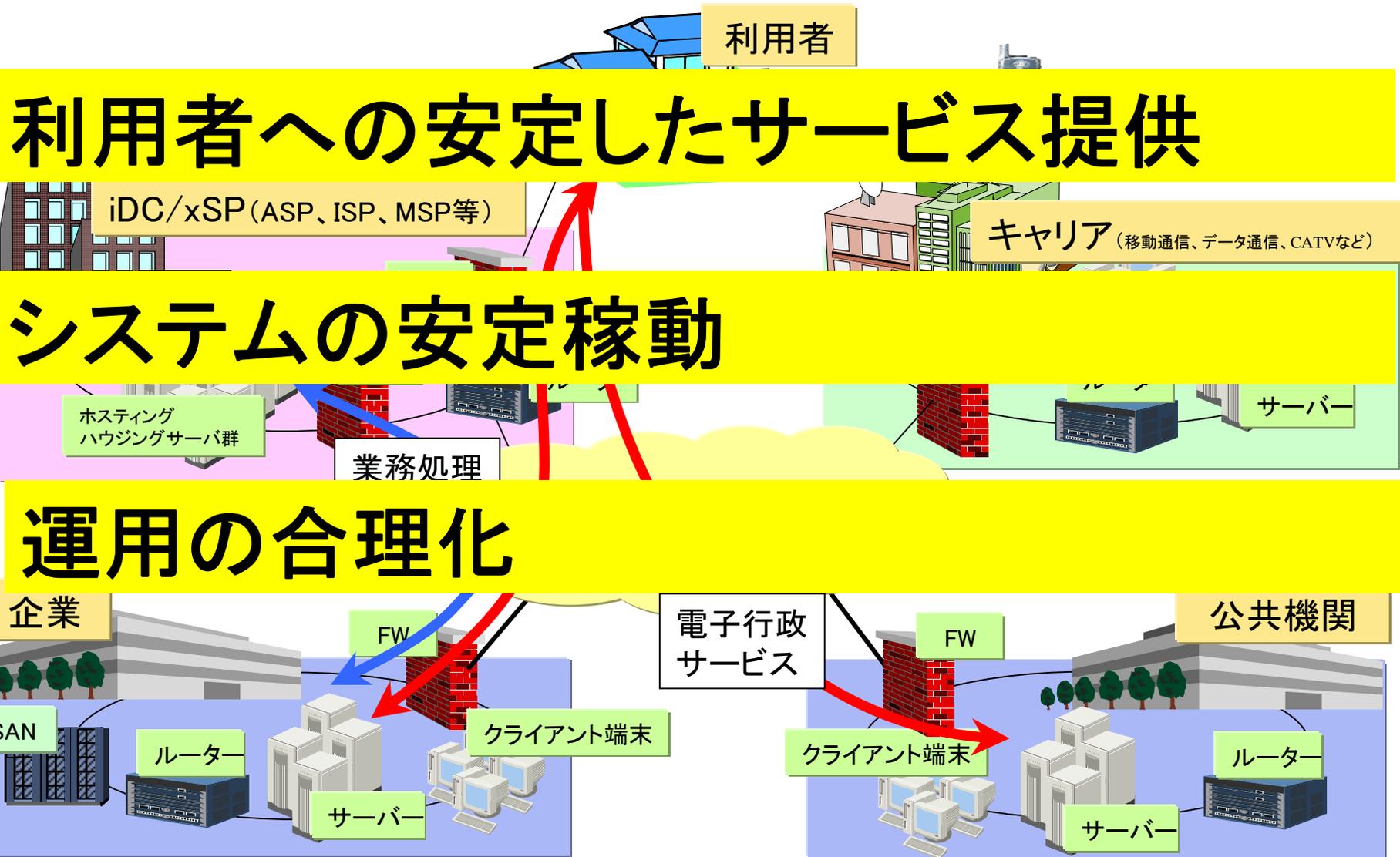
企業の情報システムを効率的に動作させるためのソフトウェア

# 1-2.何故運用管理するのでしょうか？

## 利用者への安定したサービス提供

## システムの安定稼動

## 運用の合理化



# Contents

1. 運用管理とは
- ▶ 2. JP1とは
3. 事例から学ぶJP1

JP1<sup>Version</sup>  
1.8

# 2-1. JP1って何ができるの？

JP1<sub>8</sub>

JP1は…

情報システムに関するお客さまのさまざまな悩みを

**解決** or **改善** or **軽減** する、

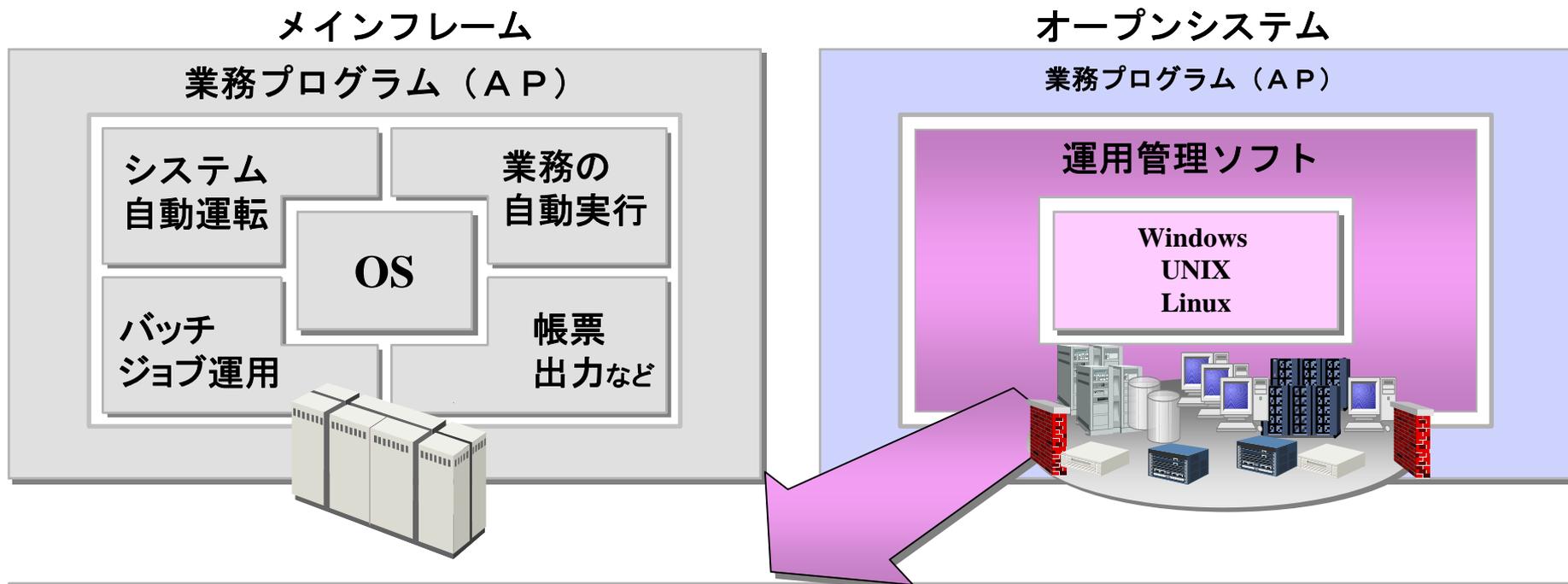
統合システム運用管理製品です。

お客さまの悩み・要望に応じて製品を選択できます。

JP1 *Version*  
8



# 2-2. JP1はなぜ生まれたか？



運用管理ソフトなしでは運用コストは膨大であり、現実的なシステム運用は困難  
オープンシステム環境での運用の自動化・省力化を実現する運用管理ソフトを  
選択することが重要なポイント



マルチプラットフォーム環境をサポートする運用管理ソフトが必須

**JP1誕生!!**

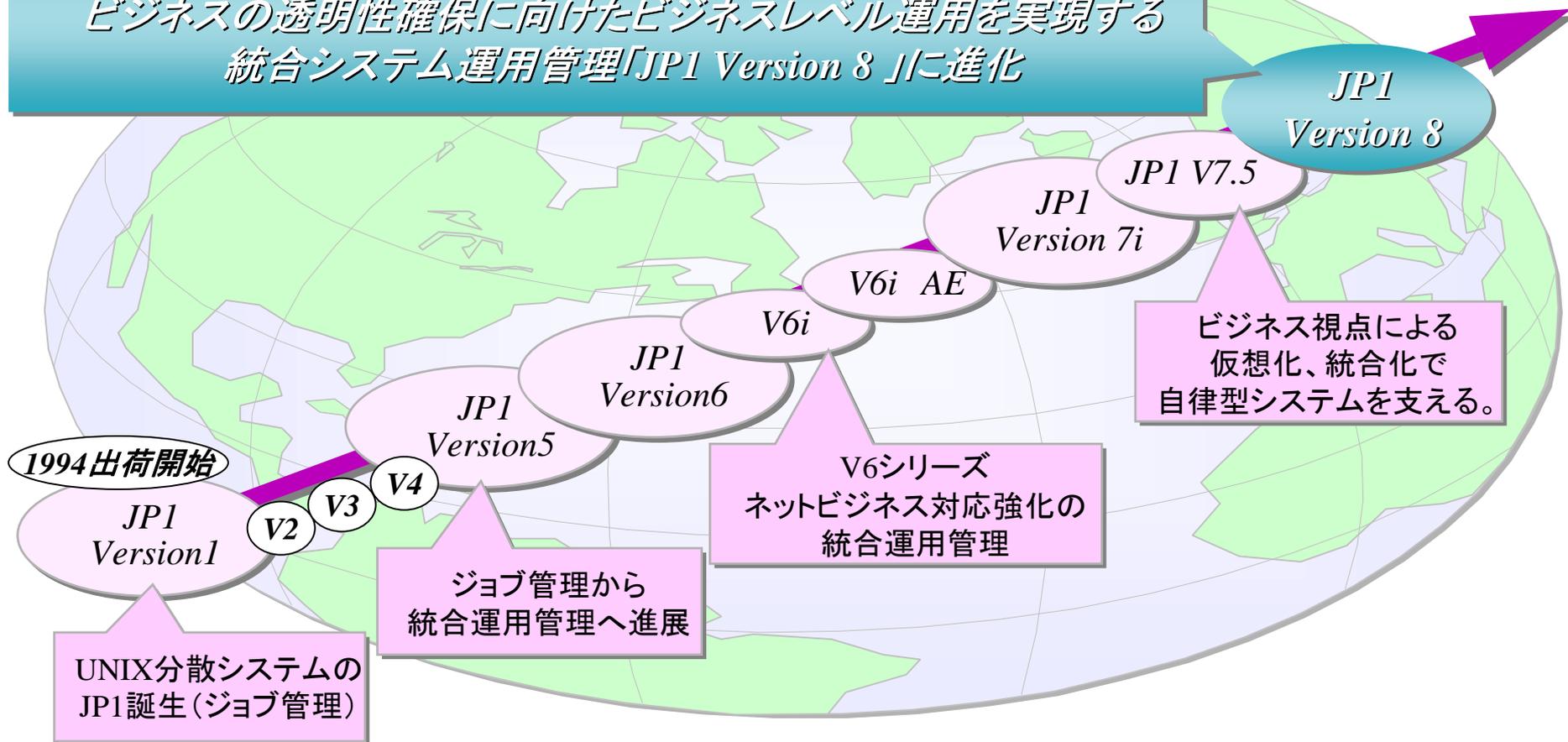
# 2-3. 進化し続けるJP1

ITレベルでの運用管理



ビジネスレベルでの運用管理

変化の激しいビジネス環境への迅速かつ柔軟な対応と  
ビジネスの透明性確保に向けたビジネスレベル運用を実現する  
統合システム運用管理「JP1 Version 8」に進化



## 2-4. こんなときにはJP1!!

- うちの〇〇業務、**自動化して作業効率と信頼性をアップ**できないかなあ。
- うちの会社の**セキュリティ対策**は万全なのか？  
もしも、**機密情報や個人情報**が流出したら・・・
- 最近の法令が気になる。**個人情報保護法**や**日本版SOX法**に対して、  
うちの会社は何ができるのか？
- システム管理の作業はどんどん増えるけど、人員は  
増やせない。**管理コスト**を削減する方法はないだろうか。
- システムを**ダウンさせない**ようにするには、どうしたらいい？

などなど・・・



**こんなときはJP1にお任せ下さい!!**

## 2-5. でも、JP1って難しいんじゃない？...

JP1について、こんな風に思っていないですか？

- たくさん製品があり過ぎて、何だかよく分からない。  
うちで使いこなせるかなあ？
- たくさん製品を買わないといけないのかなあ？  
うちじゃあ手が出ないんじゃない？
- 本当にうちにとって役に立つものがあるの？



そんなに心配しなくても  
大丈夫!!

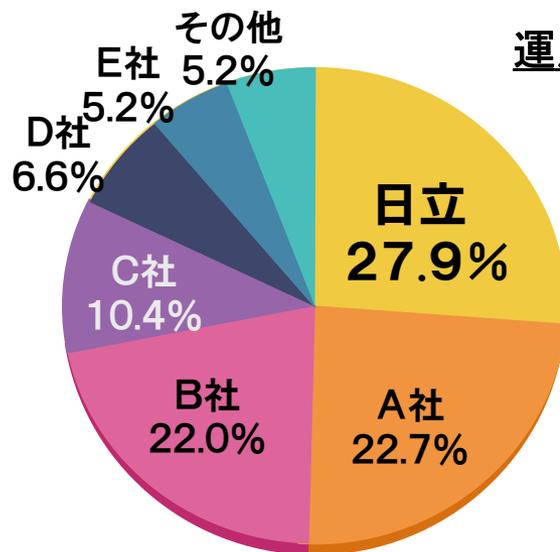


# 2-6. 多くの方々にお使い頂いています！！

JP1は、導入実績が豊富です！

● 10年連続国内トップシェアを継続中！ (富士キメラ総研などの調査による)

2006年度 シェア27.9%



運用管理ソフトウェア国内シェア(2006年度)

[出典: 富士キメラ総研、2007年9月]

導入企業は業種もさまざま、大企業から中小企業まで、豊富な導入実績があります。最初は必要なものだけをチョイス。最低限の構成でも導入効果が期待できます。拡張性に優れているので、お客様の優先順位に合わせた運用改善が可能です。

# 2-7. JP1 Version 8の特長

JP1<sub>8</sub>

## トータル ソリューション

### システム全体の統合管理

システム全体のストレージ運用・ネットワーク運用・ジョブ運用などを[統合コンソール]から一元管理できます。  
システム管理者の管理目的に沿ってITリソースをグループ化できるため、業務障害の予測・未然防止が容易に実現できます。

## ポイント ソリューション

### 必要なところから導入

豊富な管理メニューから、個々の問題解決に適した部分だけを導入できます。  
「まずは必要なところから導入して、徐々に拡張していく」といった運用も可能なため、今、必要なサービス・クオリティに合わせた最適な初期投資で導入できます。

## スケーラビリティ

### システム規模に合った最適な投資

PCサーバ1台のシステムからサーバ数千台の大規模システムまで、統合管理できる拡張性を備えているため、システム規模に合った投資が可能です。  
もちろん、既存資産を最大限に活かしながら効率よく拡張していくこともできます。

## マルチ プラットフォーム

### お客様のシステム構成に合わせて導入

Windows®から各種のUNIX, Linuxまでさまざまなプラットフォームをサポートしています。  
お客様が既にお持ちのシステム構成に合わせて導入し、プラットフォーム間をシームレスに運用・監視することが可能です。

## ベスト ソリューション

### ベストソリューションの提供

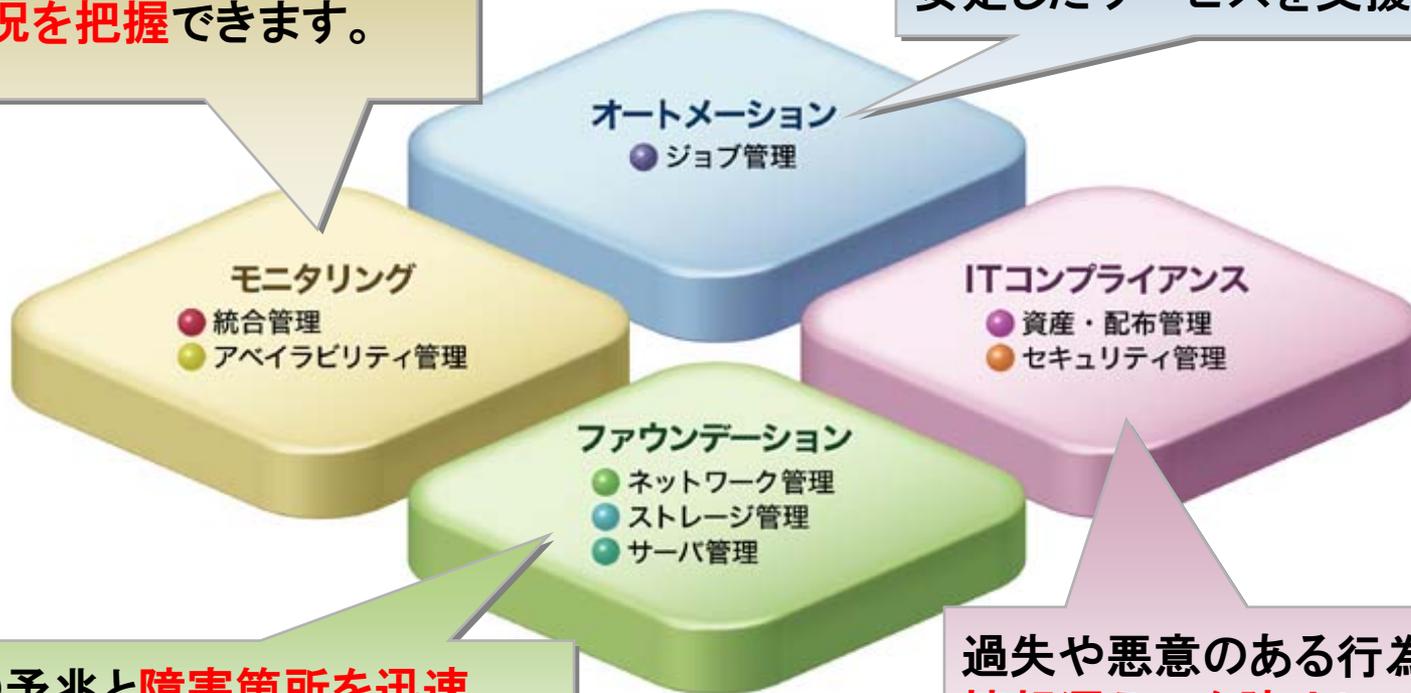
JP1の各プロダクトを用いたシステムのプランニング・構築・運用のコンサルティングや、問い合わせ・研修・教育のサポートなど、きめ細かなベストソリューションを提供。  
システム運用のさまざまなニーズに応えます。

# 2-8. JP1が支援する運用管理の4つの柱

## ITシステムを支えるJP1 Version 8 その製品は4つのコンセプトカテゴリで構成

画面を見るだけで、  
システム全体の  
稼動状況を把握できます。

業務を自動的に動かすことで、  
操作ミスを排除、人件費削減し、  
安定したサービスを支援します。



障害の予兆と障害箇所を迅速  
かつ的確にキャッチし、安定稼動に  
向けた運用を支援します。

過失や悪意のある行為による  
情報漏えいを防止し、安全な  
ビジネス環境の維持を支援します。

# Contents

1. 運用管理とは
2. JP1とは
- ▶ 3. 事例から学ぶJP1
  - 3-1. オートメーション（業務自動運用管理ソリューション）
  - 3-2. ITコンプライアンス（クライアント管理ソリューション）

JP1<sup>Version</sup>  
1.8

# 3.

## ～運用目的に応じたJP1のソリューション～ 企業情報システムと運用管理の要件

効率的なビジネス環境  
の維持



オートメーション  
(業務自動運用管理ソリューション)

最適なビジネス環境  
の維持



ITコンプライアンス  
(クライアント管理ソリューション)

# 3-1.

## ～運用目的に応じたJP1のソリューション～ 企業情報システムと運用管理の要件

効率的なビジネス環境  
の維持



オートメーション  
(業務自動運用管理ソリューション)

最適なビジネス環境  
の維持



ITコンプライアンス  
(クライアント管理ソリューション)

# これだけは知っておこう！

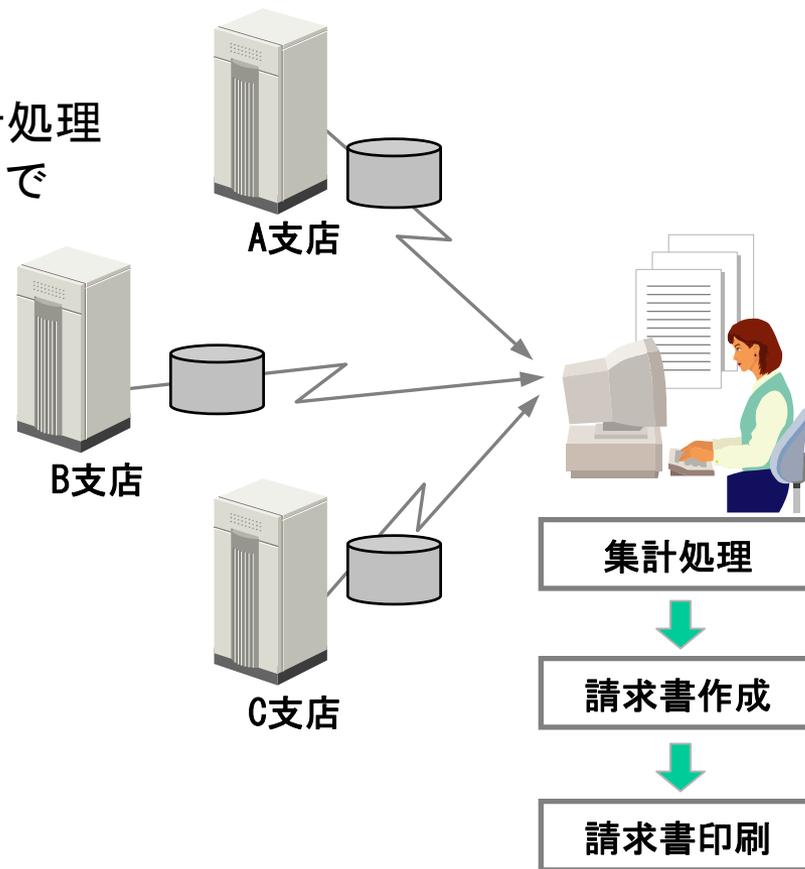
## 業務の自動化って何？

### ■ 自動化前の状態

毎日、各支店のデータ到着を待ってから集計処理をしている。いつデータがくるか分からないのでそのためだけに残業も・・・。

### ■ JP1を導入

各支店からファイル到着を契機にして集計処理を自動実行。

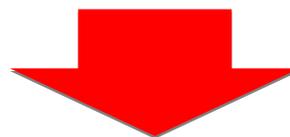


- 人件費の削減
- 確実な処理の実行

# システム管理者の悩み

## システム管理者のこんなお悩みを解決します！

- ① 手作業による業務運用のため、**効率が悪い**上に、**オペレーションミス**もある。
- ② 各業務を個々の担当者が個別に管理しているので、**多くの人員が必要**だ。
- ③ 毎日、同じ作業をするから**自動化**したい(ファイル到着をきっかけにした業務の実行など)。
- ④ 管理者がいないときに障害が発生したら、その間**業務が停止**してしまう。

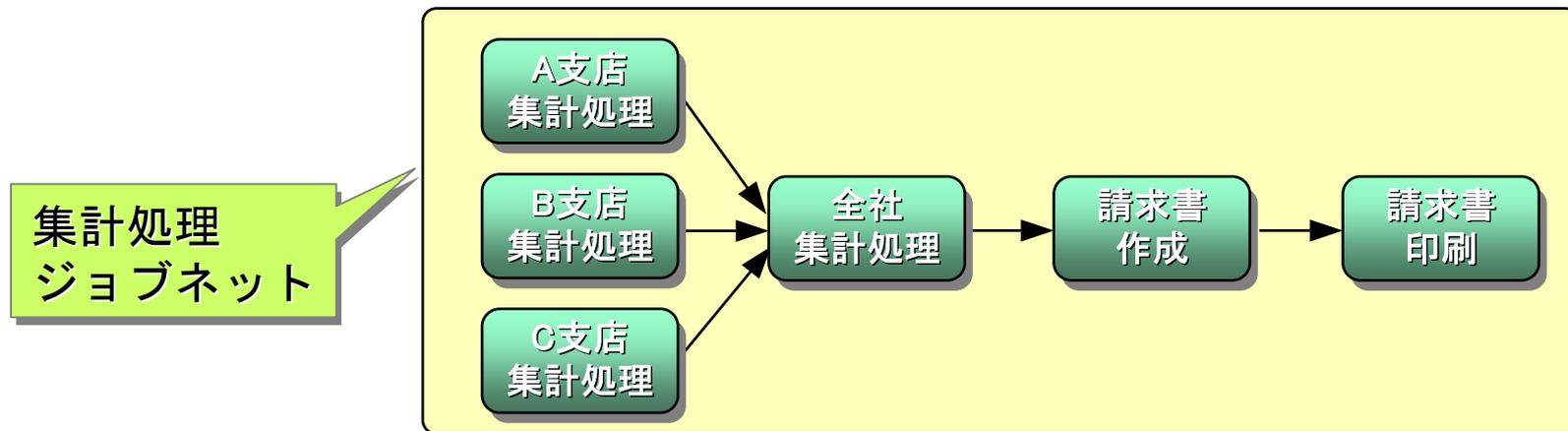


**業務自動運用管理ソリューションで解決!!**

## この機能で解決!

～柔軟できめ細かいジョブ自動運用～

- 人手によるミスを減らし、確実に定型的な業務を自動実行するため、オペレーションミスを減らせます。



業務は1つまたは複数のジョブから構成(この集まりをジョブネットと呼びます)され、必要な時に実行されます。

## 多様な実行手段

- 即時実行
- 日次、月次などの定型業務の計画的な自動実行
- 休業日の場合の自動振替実行
- 運用日や特定日のみのスケジュール実行
- 日本独自の旬(上旬、中旬、下旬)に対応するスケジュール実行機能 など

この機能で解決！ ～GUIを用いた効率の良い運用・監視～

●より少ない人員で業務を運用

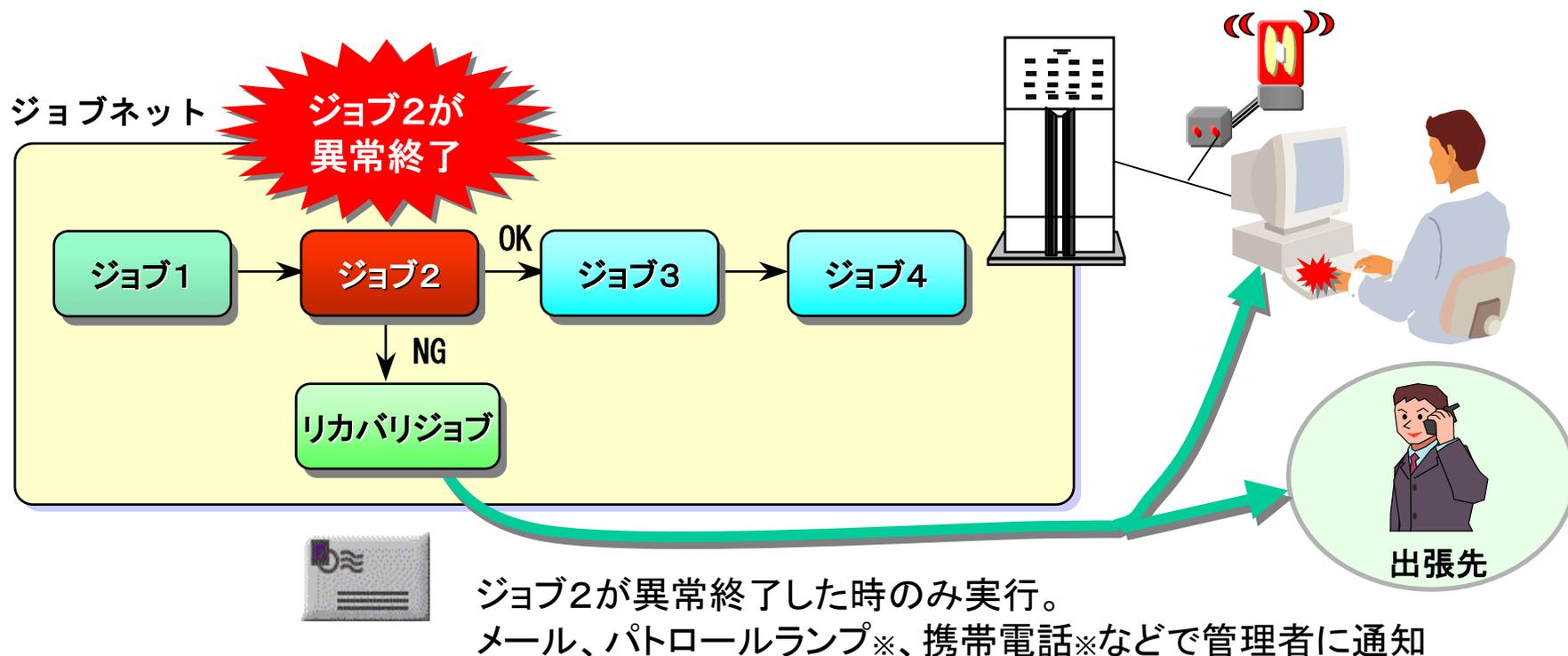
業務を自動的に実行でき、GUI画面で操作や監視ができるため、少ない人員で業務を運用できます。その結果、コストを削減し人的資源を有効に活用できます。

The image displays two screenshots of the automation software. The left screenshot shows a workflow diagram with nodes for 'イベント発生' (Event Occurrence), 'ジョブA', 'ジョブB', 'ジョブC', and 'ジョブD', connected by arrows. The right screenshot shows a '販売業務管理 - マンスリースケジュール' (Sales Business Management - Monthly Schedule) window. It features a calendar grid for the month of May 2004, with tasks scheduled on specific days. Below the calendar is a table of task execution details.

ユニット名	開始日時	終了日時	状態
Web受注バッチ処理 (週次)	2004/05/14 00:00:00	2004/05/14 00:40:00	開始時刻待ち
受注_FAX (週次)	2004/05/14 00:00:00	2004/05/14 00:40:00	開始時刻待ち
受注_TEL (週次)	2004/05/14 00:00:00	2004/05/14 00:40:00	開始時刻待ち
受注_窓口 (週次)	2004/05/14 00:00:00	2004/05/14 00:40:00	開始時刻待ち
請求書発行	2004/05/14 00:00:00	2004/05/14 00:40:00	開始時刻待ち

## この機能で解決！ ～障害時の迅速なリカバリ対応を実現～

- 管理者が常駐していなくても、障害にすばやく対処  
障害時にだけ実行する処理を定義したり、障害時に管理者へ自動的にメールを送ったり、といった障害対応の手段も自動化できるので、管理者が常駐していなくても、障害にすばやく対応できます。



※別途、通報管理製品が必要です。

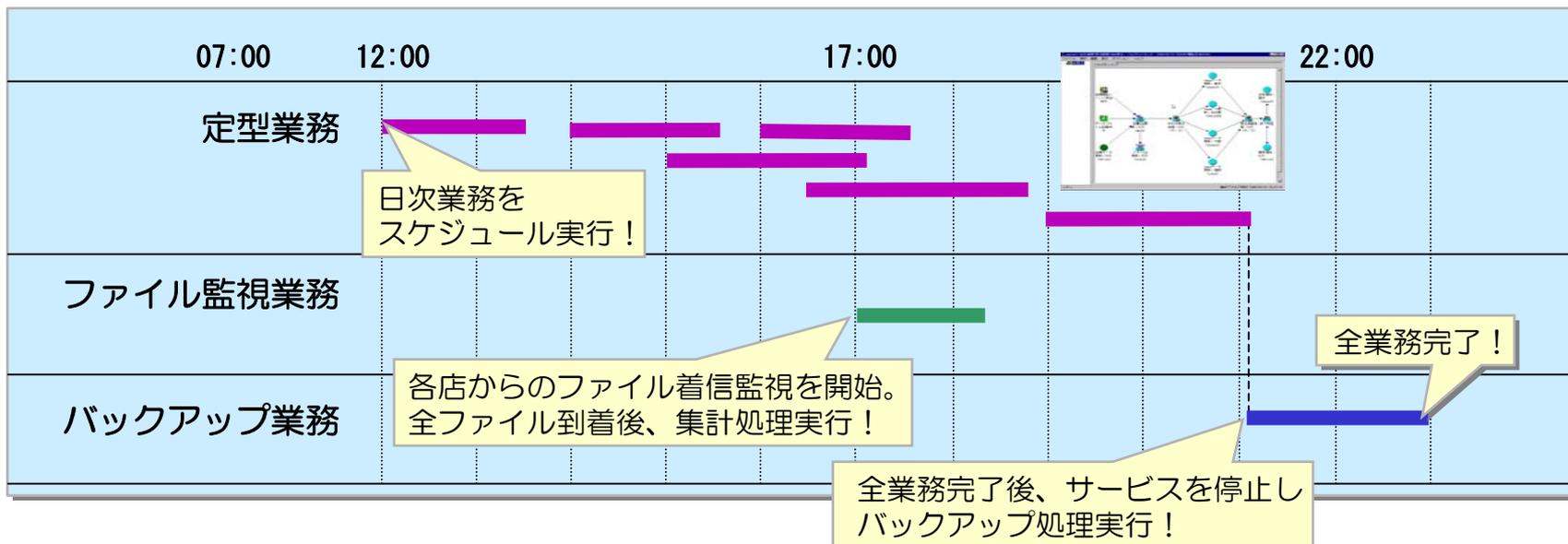
# この機能で解決!

～業務運用自動化の適応～

ジョブ管理を用いた運用を行うことで1日の業務をすべて自動化できます。

7:00 電源投入

23:00 電源切断



## 業務の予実績管理

日次予定と稼働実績を管理。  
月スケジュール確認で月次業務の予定と実績も管理可能。

2008/02/10 の業務

日次業務 1	開始予定 : 12:00	(13:30)正常終了
日次業務 2	開始予定 : 15:00	(17:10)正常終了
日次業務 3	開始予定 : 16:30	(18:45)正常終了
日次業務 4	開始予定 : 19:00	(21:05)正常終了
ファイル監視	開始予定 : 17:00	(18:20)正常終了
バックアップ 処理	開始予定 : --:--	(22:58)正常終了



# 業務自動運用の導入事例(1/3)

## 顧客情報

従業員:500名, 本社:東京, 全国に100店舗

## 導入背景

商品の発注処理や、社員・パートなどの勤務管理をFAXを使って本社に転送し、本社でデータを手作業で入力・集計していた。  
しかし、店舗の増大に伴い、商品発注、勤務管理の自動化が必要となった。

## 要求仕様

- ・商品発注処理、勤務管理が自動化できること
- ・集計結果を自動印刷できること
- ・構築・設定が容易なこと(開発期間が短くてすむため)

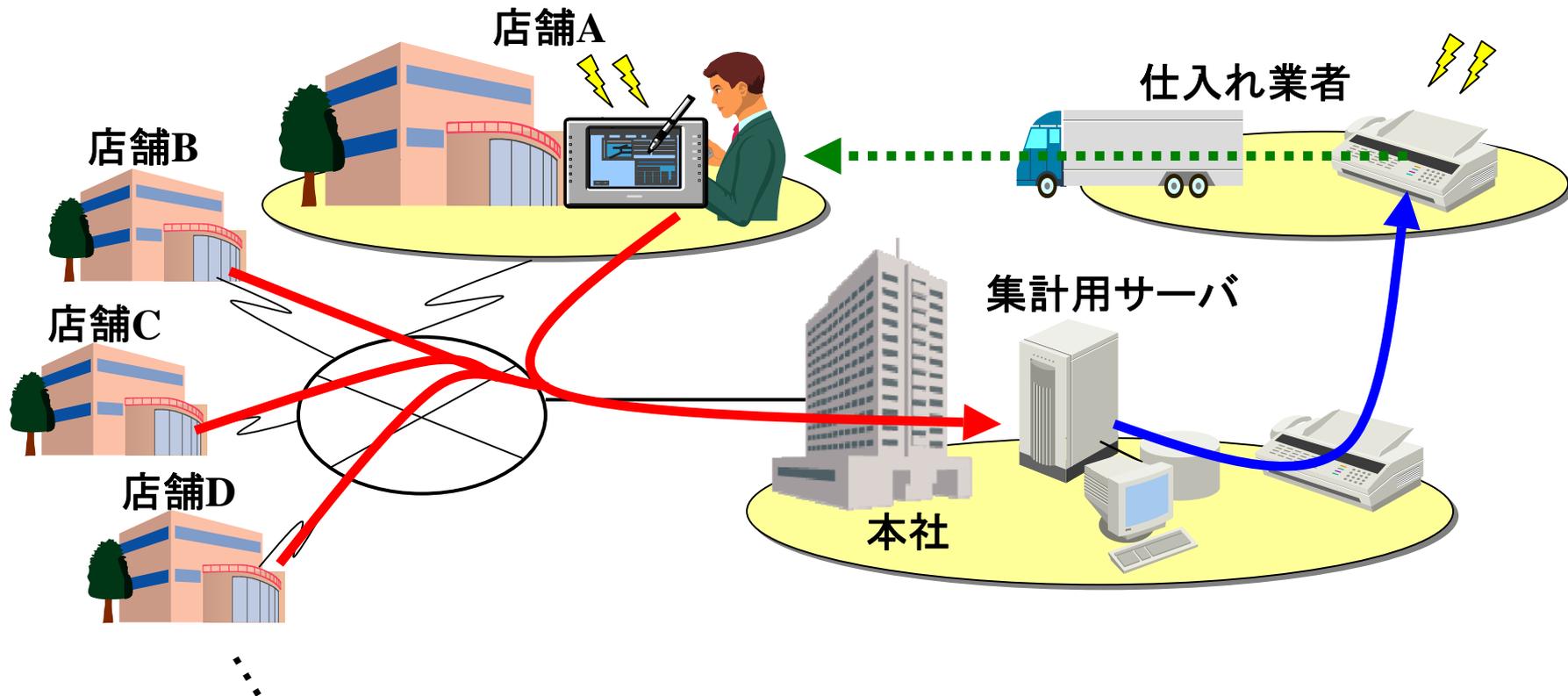
## 選定理由

- ・設定がGUIで容易に行える(開発期間の短縮)
  - ・機能の豊富さ、柔軟性(他製品では、実現不可能だった)
  - ・過去の導入実績
- など

## 業務自動運用の導入事例(2/3)

## 各店舗からの情報収集・集計処理を自動化

- 各店舗から発注・勤務情報を本社へ送信
- 各店舗からの情報を、本社で自動的に集計



## 業務自動運用の導入事例(3/3)

## 製品構成

集計用サーバ(Windows Server 2003) 1台、操作用クライアント(Windows XP) 1台の構成。

対象	製品名	標準価格(税抜)
本社 集計用サーバ (1台分)	JP1/AJS2 - Manager	¥380,000
	JP1/Base	¥50,000
	JP1/FTS/FTP	¥130,000
本社操作用クライアント	JP1/AJS2 - View	¥50,000
店舗Windows CE	FTP機能が必要です	—
合計		¥610,000

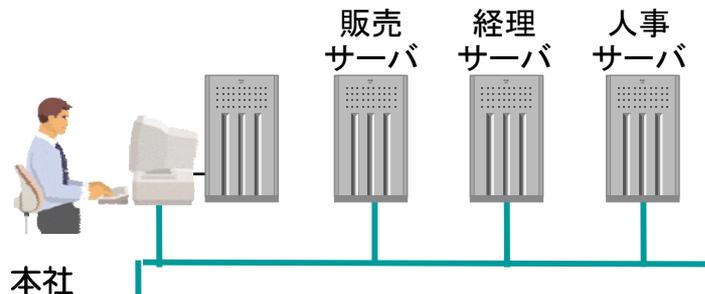
## 導入のメリット

- JP1/AJS2を導入して業務を自動化することにより、業務が正確に実行できることと同時に、効率向上が図れる
- 拠点間の情報のやり取りがある場合、ファイル転送を契機(ファイル到着、ファイル更新等)としたアプリケーション実行を実現できるので、全社的な業務の自動化が可能
- その他、JP1/AJS2は、さまざまなクラスタソフトに対応しているため、高可用性、高信頼性を維持した業務運用が可能

## 業務自動運用のコスト試算事例 ー導入前ー

- ・業務実行に対して操作・監視が必要
- ・オペレーションミスによるトラブルが多発
- ・業務サービス提供のため、早出・残業の体制が必要

全業務の予実績を  
一元管理したい



本社

送信時間なのに、  
今日の売上データが  
まだできていない。



支社  
伝票入力

LAN/WAN

支社



支社  
伝票入力

担当者が不在なので  
何時までにどのデータを送れば良いのかわからない。

所要工数

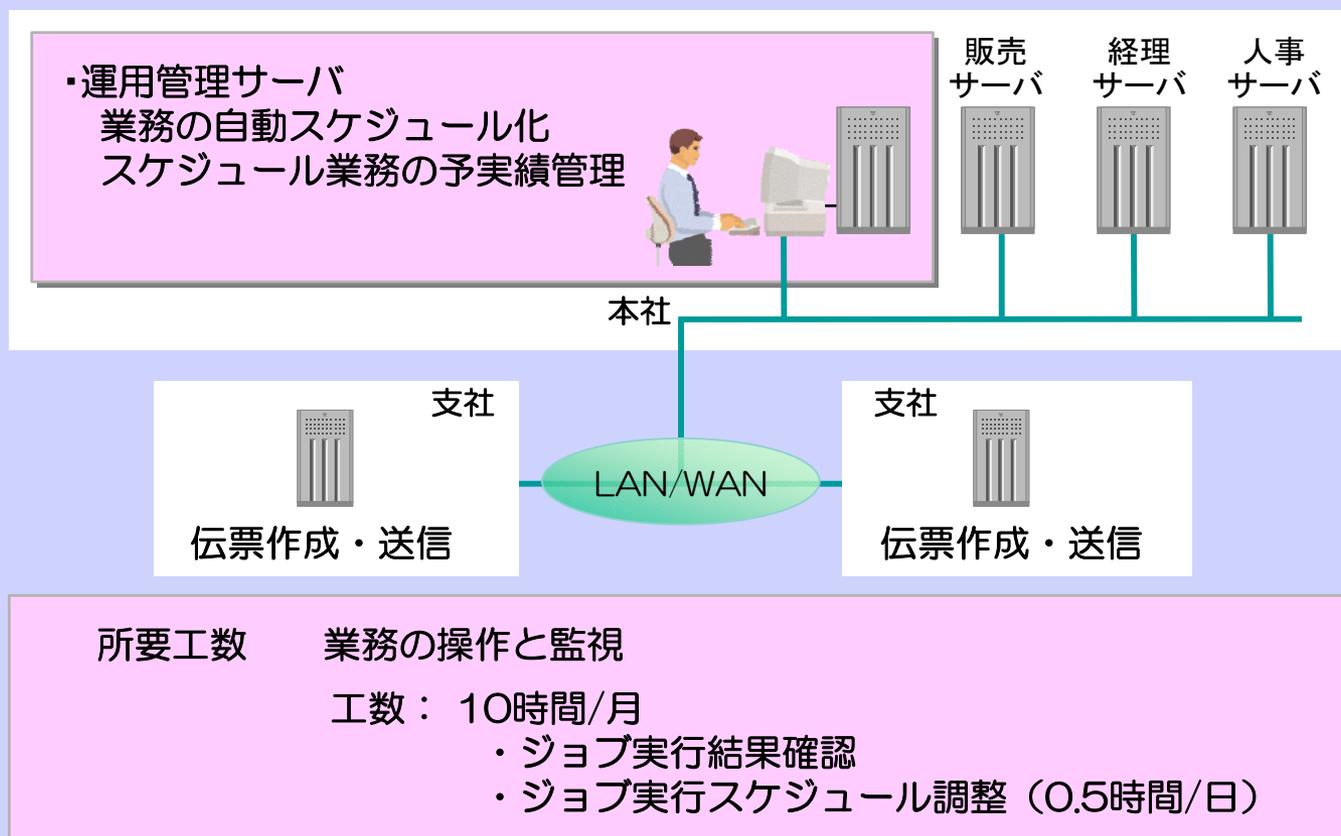
業務の操作と監視

工数：約 240時間/月

(12時間/日 <内：早出・残業：4時間>)

## 業務自動運用のコスト試算事例 ー導入後ー

- ・ 1日の業務の自動化と予実績管理の簡素化を実現
- ・ 各業務サーバの業務実行（ジョブ実行）を運用管理サーバで一元管理
- ・ 日々実行される業務の予実績を簡単に管理



## 業務自動運用のコスト試算事例 —導入効果—

導入後、以下のような効果が期待できます。

- 早出・残業の解消による人件費の削減
- オペレーションミスの排除による業務実行の信頼性向上
- 業務の計画的実行と運用

業務の操作と監視

工数削減

作業時間 : 240時間→10時間

金額効果合計 : ¥1,380,000/月

(人件費単価 : ¥6,000/時間を仮定)

# JP1の導入効果

- ファイル監視による確実な業務実行を実現
- 業務の予実績管理により業務実行を確実に
- 定型業務をスケジュール化し確実な業務実行を実現
- 日々のバックアップを自動化し安全な運用を実現
- 複雑で大規模な業務の管理も容易に

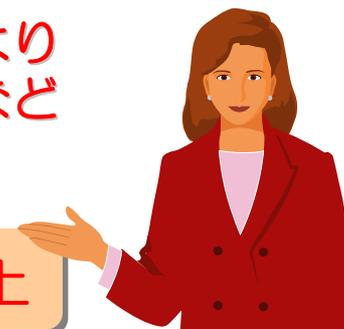
★業務の安定稼働と自動化による運用コスト削減

★自動化可能な日々の運用をJP1で実現することにより  
これまで行えなかった業務の改善やインフラの整備など  
他業務へ意識転換

運用コスト削減



既存業務の効率向上



# 3-2.

## ～運用目的に応じたJP1のソリューション～ 企業情報システムと運用管理の要件

効率的なビジネス環境  
の維持



オートメーション  
(業務自動運用管理ソリューション)

最適なビジネス環境  
の維持

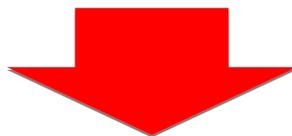


ITコンプライアンス  
(クライアント管理ソリューション)

# システム管理者の悩み

## システム管理者のこんなお悩みを解決します！

- ①クライアントの台数が多すぎて管理者だけでは把握しきれない。
- ②エンドユーザーに手間をかけさせずにプログラムをインストールしたい。
- ③OSのセキュリティパッチやウイルス定義ファイルの更新についてはクライアント任せなので、全体が把握できない。  
したがって、クライアントごとに対策状況が異なっていて、社内でウイルス感染のおそれがあるPCが存在するかもしれない。
- ④離れているPCの対策のために、出張して対応しなければいけない。



**クライアント管理ソリューションで解決！！**

## この機能で解決!

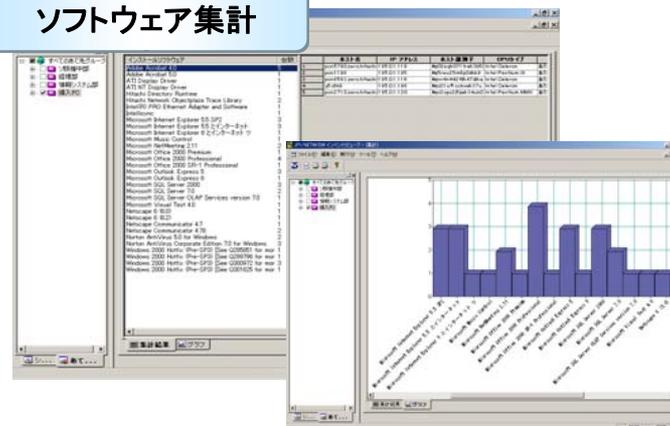
～インベントリ情報管理～

- システム内のハードウェア情報、ソフトウェア情報、ユーザー情報などの資産情報を一元管理できます。

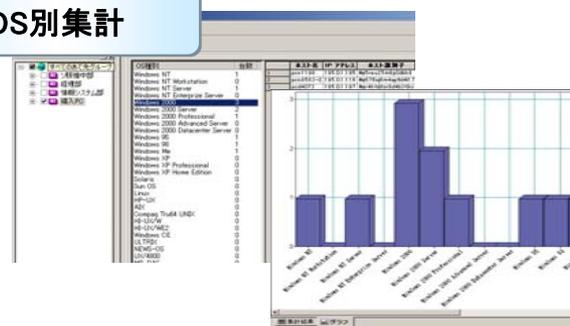
## 特定PCのシステム情報表示

システム情報項目	値
クライアント名	JP1/NETM/DM Client 0672
コンピュータ名	JP1SV
OS	Windows 2000 Server
OSバージョン	0500
OSサブバージョン	Service Pack 2
OSビルド番号	2195
インターネット接続情報	5.50.4807.2300
IPアドレス	SP2:0306121;0312461;0313675;0316059;0319182;0321232
WMIC	1085.0005
ドメインワークグループ	WORKGROUP
ドメイン種別	スタンドアロンサーバ
会社名	ソフトウェア事業部
所有者名	(株)日立製作所
ログオンユーザ名	JP1SV\Administrator
ユーザの説明	コンピュータドメインの管理用 (ビルトイン アカウント)
OSシリアル番号	52309-335-4870547-05352
ロケール	日本語
OSの言語	日本語
現在のタイムゾーン	GMT+09:00
OSインストール日時	2002/07/12 15:18:03 @MT+09:00
パーティション	¥Device¥Harddisk0¥Partition1
Windowsディレクトリ	C:\WINNT
システムディレクトリ	C:\WINNT\System32
CPUタイプ	Intel Pentium III-S
コアプロセッサ	あり
CPUクロック数	1000 MHz
CPU外部クロック数	133 MHz
プロセッサ数	1
実メモリー容量	384 MB
(1)メモリーバンクの容量	128 MB
(2)メモリーバンクの容量	256 MB
物理メモリーバンク数	57 MB

## ソフトウェア集計



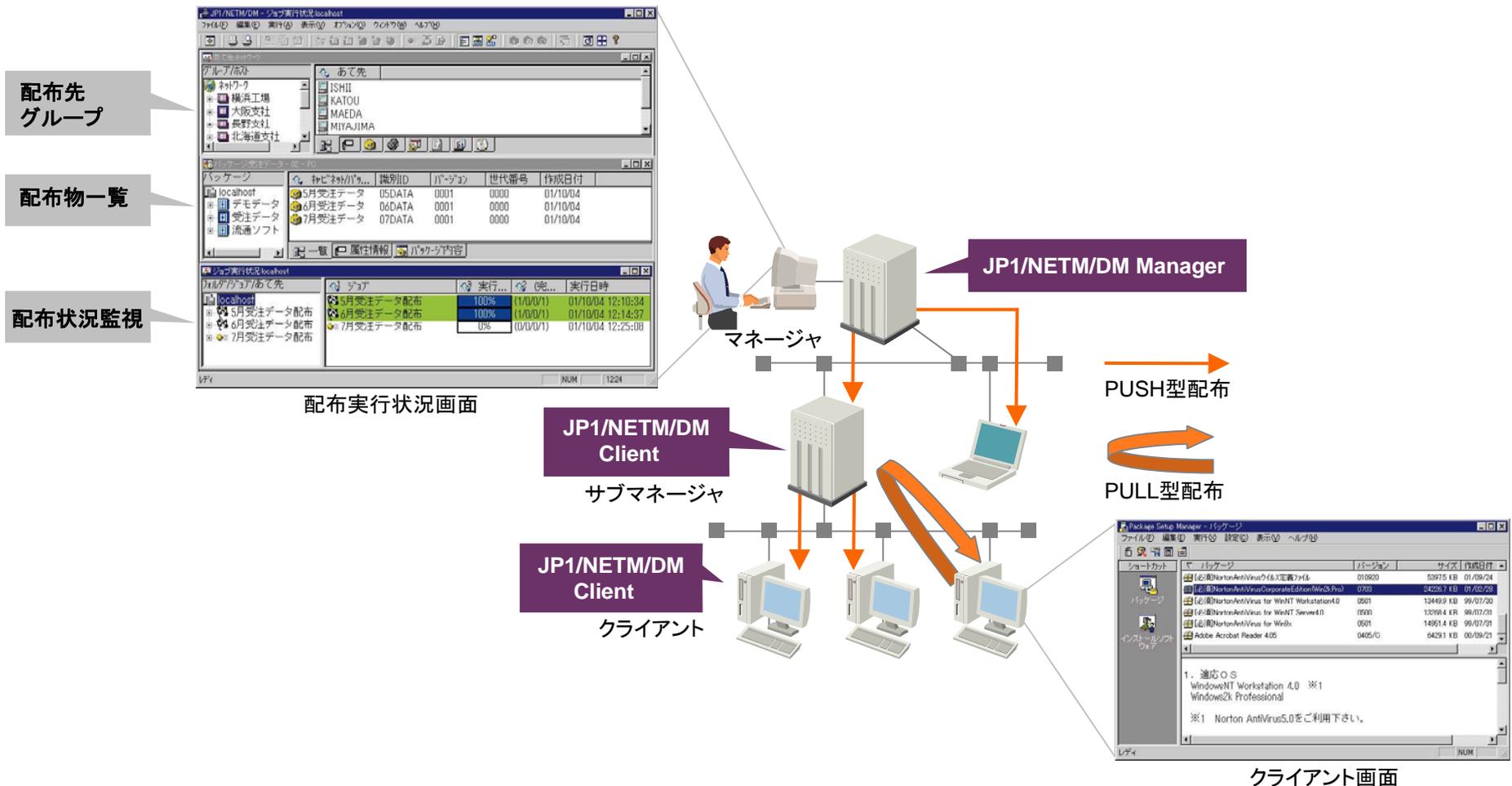
## OS別集計



## この機能で解決!

～ソフトウェアの配布管理～

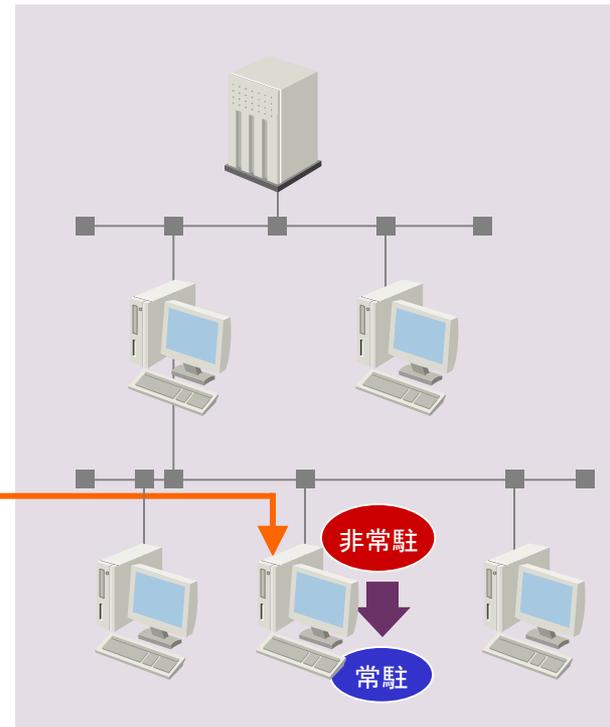
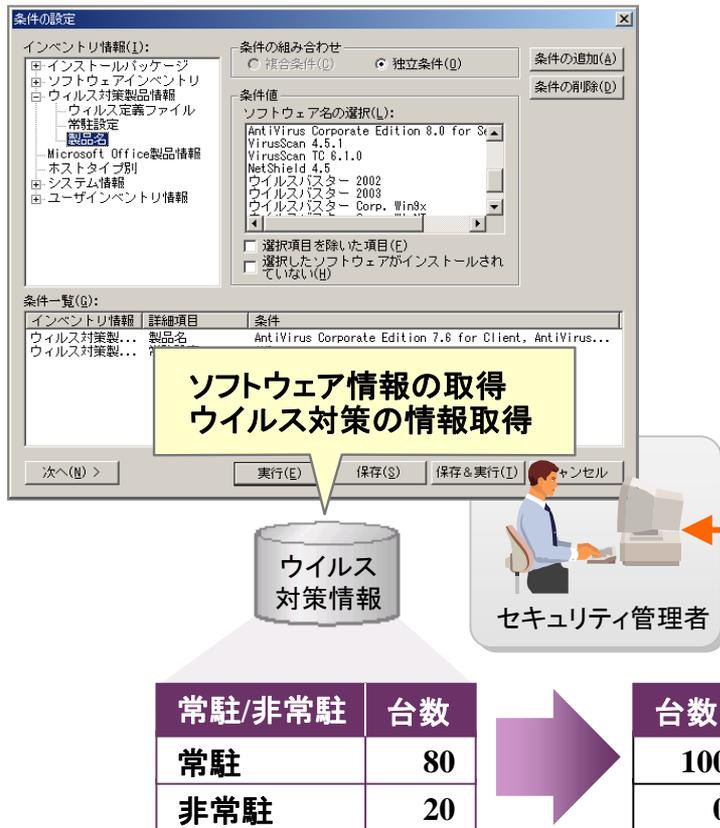
- マネージャからクライアントへのソフトウェアの配布・インストールを自動化できます。また、配布状況をマネージャからビジュアルに確認できます。



## この機能で解決!

～セキュリティ対策～

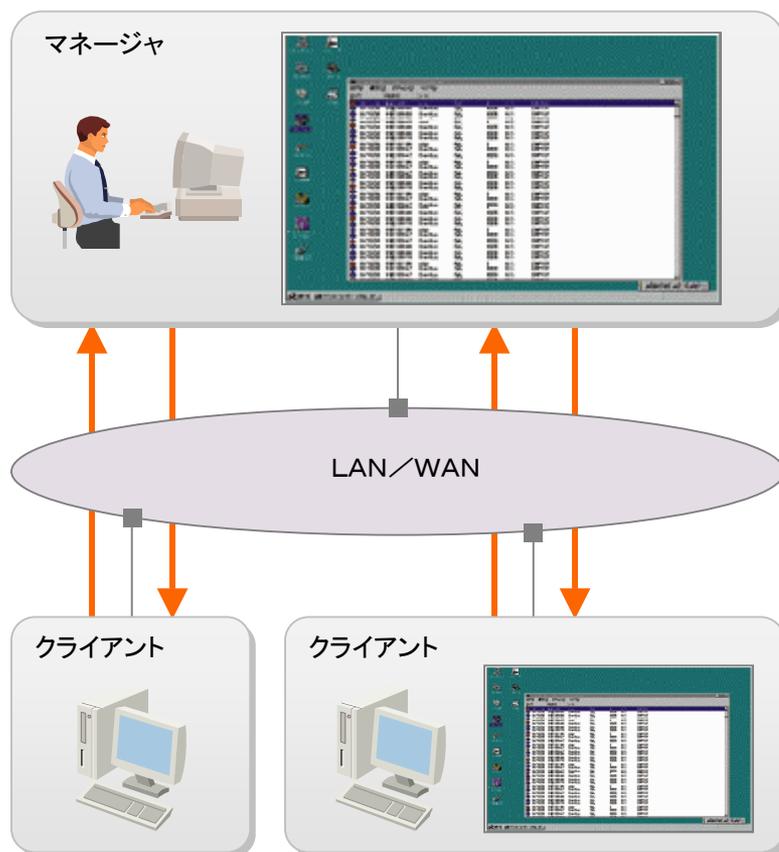
- ウィルス対策製品のエンジンバージョン、ウィルス定義ファイルのバージョン、ウィルス対策製品が常時待機(常駐)しているかどうかといった情報を取得できます。「取得した情報を集計し、ウィルス定義ファイルが古いPCに対して最新のファイルを配布する」といった運用が可能です。



## この機能で解決!

～リモート操作～

- 電話回線やLANを経由して、遠隔地にあるPCの画面を手もとのPCの画面上に呼び出して遠隔操作できます。  
この機能を利用すると、呼び出したPCの画面に対し、自分のPCに対するのと同じように操作できます。



## &lt;主な機能&gt;

- シャットダウン / リブート  
リモートPCのシャットダウン、リブートができます。
- リモートログイン  
電源ON状態のエージェントにリモートログインができます。
- 高速化機能  
各種高速化機能で低速の通信環境でも遠隔操作を実現できます。
- ファイル転送  
ファイル転送ウィンドウで「ローカル」-「リモート」間のファイル、フォルダの操作を自由に行えます。
- クリップボード転送  
エージェント側のドキュメント中のデータをコントローラ側のドキュメントに取り込むなどのデータ編集ができます。
- チャット機能  
一度に複数のPCと会話したり、特定のPCにメッセージを送ったりできます。

## 資産・配布管理ツールの導入事例(1/4)

## 顧客情報

従業員:50名, 本社:東京

## 導入背景

システム管理の専任担当がおらず、PCに詳しい人(1名)が業務の片手間に管理している。社員の中にはPCに詳しい人がほとんどいない。

## 要求仕様

- ・ソフトウェア (主にウイルス定義ファイルやOSのパッチ)の配布が行えること
- ・クライアントのインストール済みソフトウェア情報や、PCのスペックが管理できること
- ・遠隔操作で、出張・帰宅時にも障害対応ができる必要あり

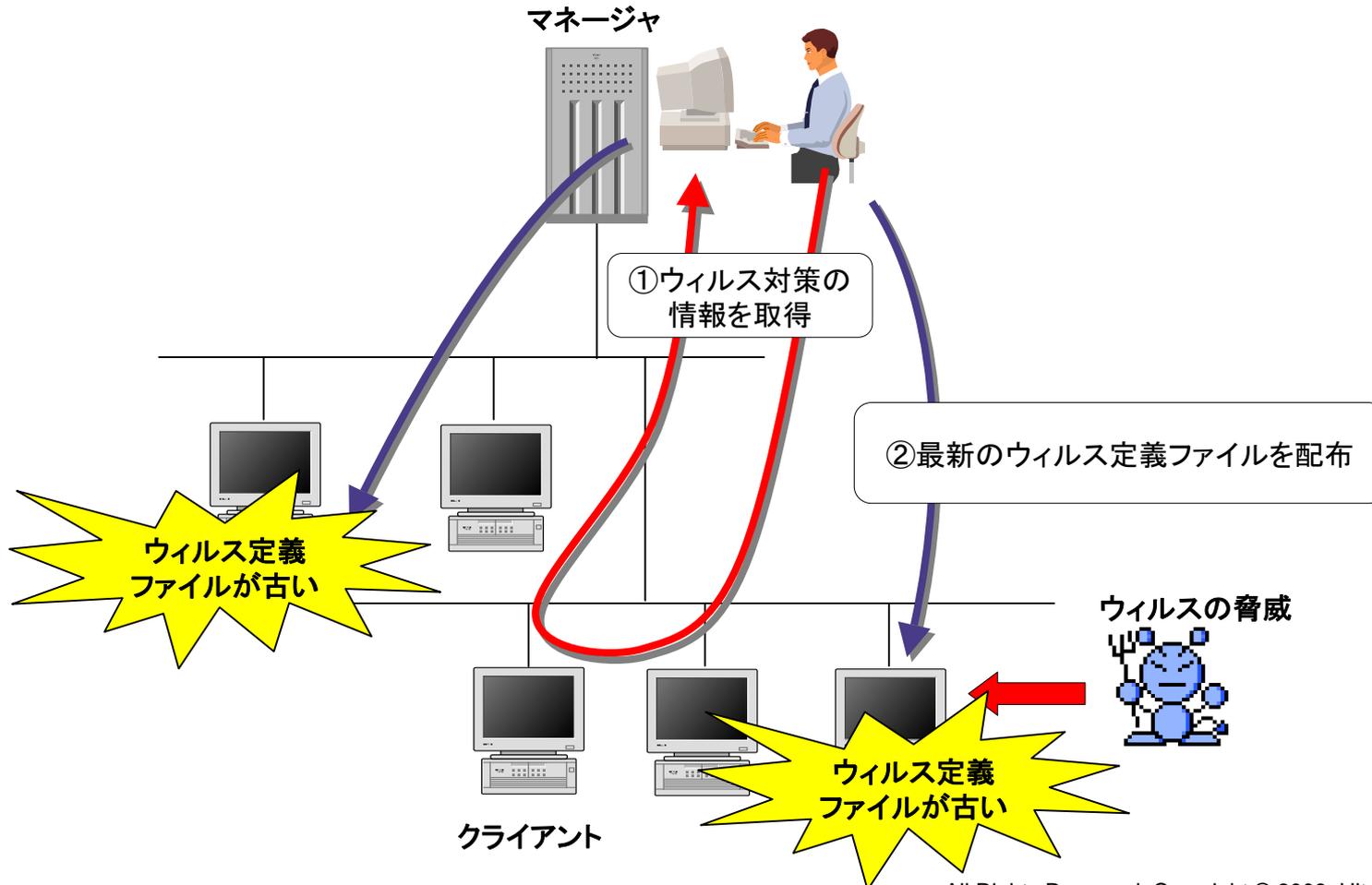
## 選定理由

- ・ネットワークに負荷をかけないさまざまな機能が充実
- ・クライアントの資産情報をすぐに収集してレポートが作成可能
- ・担当者の出張・帰宅時もモバイルPCから遠隔操作で障害対応が可能

## 資産・配布管理ツールの導入事例(2/4)

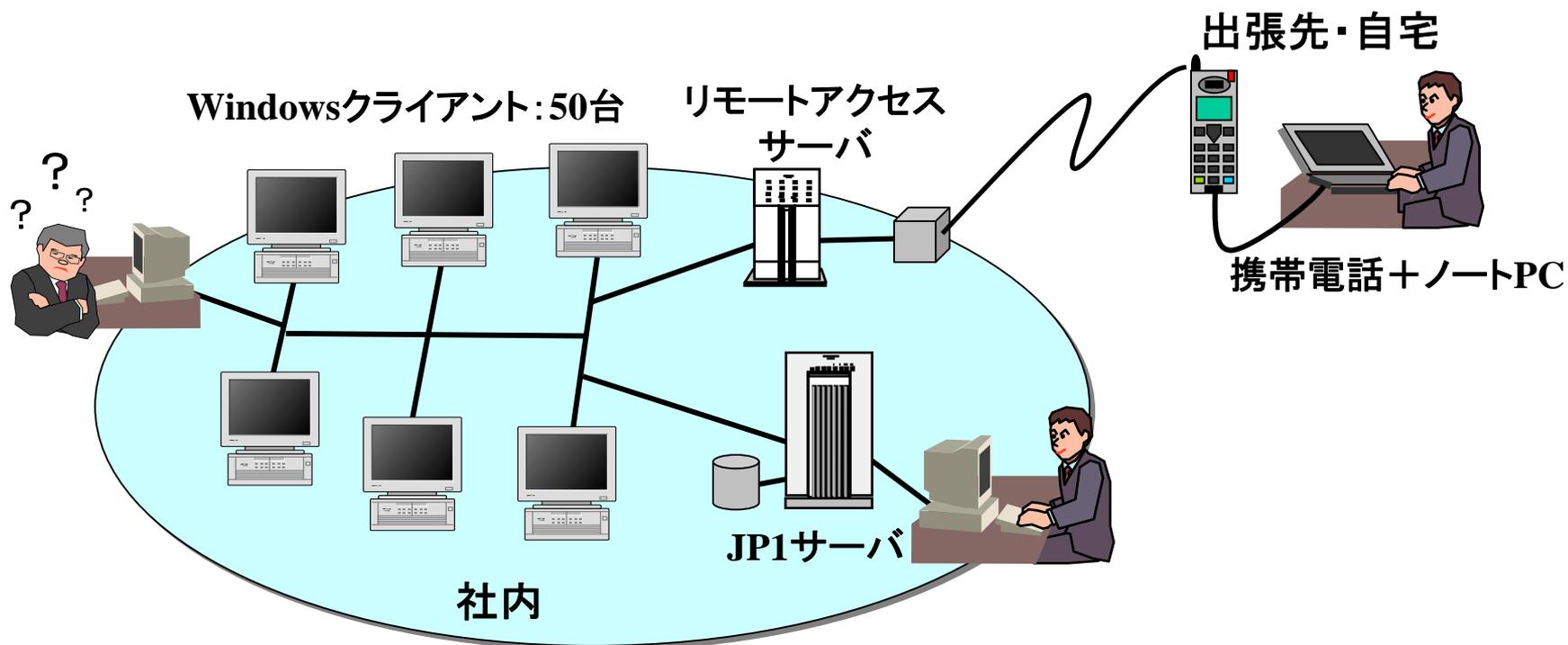
## 遠隔地にあるクライアントにウイルス定義ファイルを配布

- 各クライアントに適応されているウイルス定義ファイルのバージョン情報を収集し、定義ファイルが古いクライアントに最新のウイルス定義ファイルを配布



## 社内だけでなく、出張先からもヘルプデスクを実施

- 社内では、配布・資産管理・ヘルプデスク(リモート操作機能を使用)を実施
- 管理者が出張・帰宅したときのヘルプデスク(リモート操作機能を使用)は、モバイルで実施



## 製品構成

Windowsクライアント50台の構成。

対象	製品名	価格(税抜)
JP1サーバ	JP1/NETM/DM Manager	¥170,000
クライアント	JP1/NETM/DM Client	¥469,800
	合計(JP1製品のみ)	¥639,800

## 導入のメリット

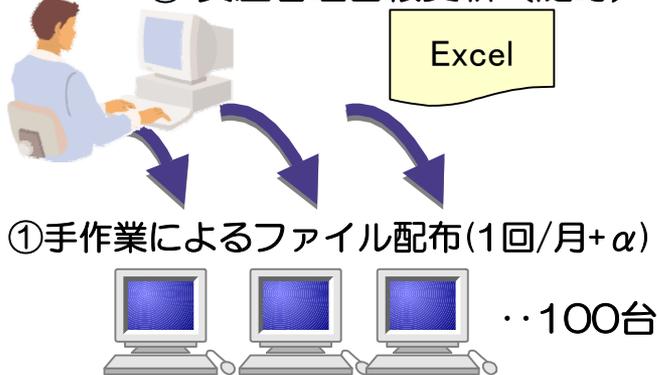
- ウィルス定義ファイルの確実な更新が可能
- 配布からインストールまで自動化できるので、プログラム更新の手間を軽減できた
- 収集したクライアントの資産管理情報のレポートニングも可能で、PC管理の業務報告書作成などにも活用でき、管理者の負担を軽減
- リモート操作は、出張先などの離れた所からも利用可能なので、問題発生時に早期解決につながる

## PCの資産管理・配布運用管理のコスト試算事例 ー導入前ー

- ・PCへのファイル／ソフトウェアの配布は手作業
- ・PCの資産管理は資産番号、インストールソフトウェアなどについて、1台ずつの情報を調べて台帳で管理
- ・ヘルプデスク対応業務や拠点サーバの問題が発生すると、現地まで出向いて対応

## 名古屋本社工場

## ② 資産管理台帳更新（随時）



## 大阪工場

① 手作業によるファイル配布(1回/月+ $\alpha$ )所要工数と経費  
(事例)

## ① ファイル配布

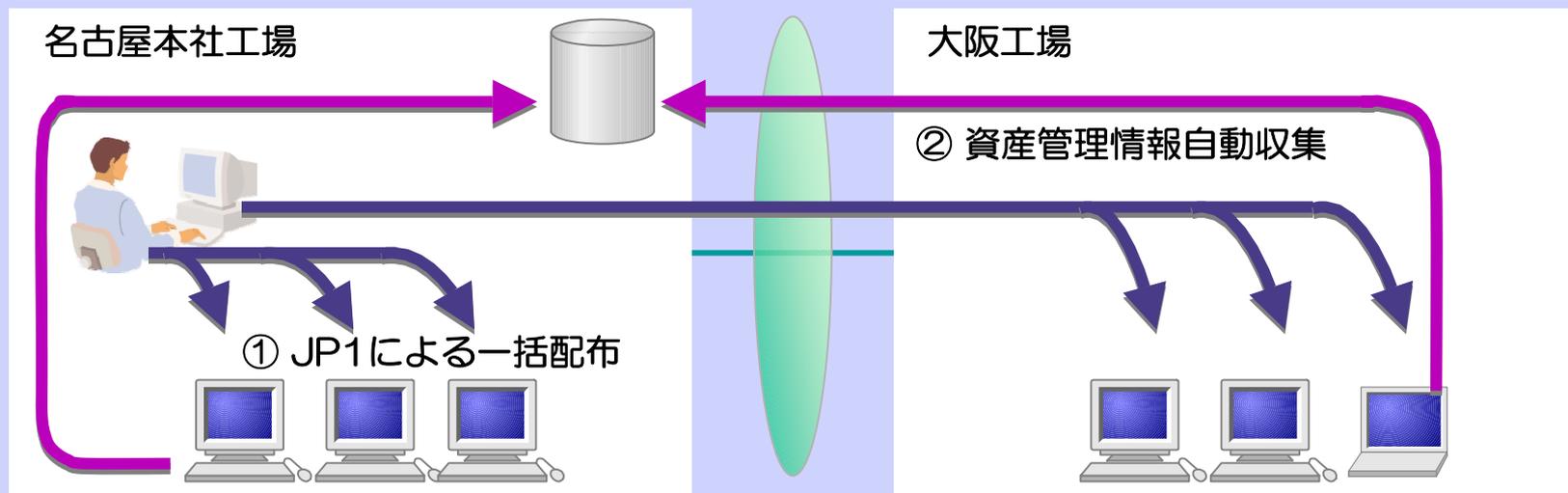
工数：約54時間/月  
 (20分/台+大阪への往復時間4時間)  
 経費：約¥20,000/月  
 (大阪への出張旅費×1回/月)

## ② 資産管理台帳更新

工数：7時間/月  
 (変更：約1回/月，棚卸：1回/年)

## PCの資産管理・配布運用管理のコスト試算事例 ー導入後ー

- ・ PCへのファイル/ソフトウェアの配布は管理者操作で一括配布
- ・ PCの資産管理情報は週次で自動収集
- ・ ヘルプデスク業務や拠点サーバの問題は遠隔操作で対応



所要工数と経費  
(事例)

①ファイル配布  
工数： 3時間/月  
(JP1の操作時間のみ)  
経費： ¥0/月  
(出張なし)

②資産管理台帳更新  
工数： 0.4時間/月  
(JP1の操作時間+ $\alpha$ )

## PCの資産管理・配布運用管理のコスト試算事例 —導入効果—

導入後、以下のような効果が期待できます。

- ファイルやソフトウェアの配布・インストールを自動化
- 配布漏れを防止
- 資産情報は自動収集し管理者席から一元管理
- 資産台帳の精度向上
- 現地に出向くことなく遠隔地からのPC操作が可能

## ファイル配布業務

## 資産管理台帳更新業務

工数削減

作業時間：54時間→3時間

作業時間：7時間→0.4時間

経費削減

大阪への出張回数：1回→0回

—————

金額効果合計：¥368,000/月  
(人件費単価：¥6,000/時間を仮定)

## JP1の導入効果

- ソフトウェア、ウィルス対策製品などの自動インストールまたはバージョンアップにより時間とコストを大幅に削減
- 機器の各種情報を一元管理することにより資産管理にかかる時間やコストを低減
- リモート操作によりヘルプデスク業務の負荷を軽減  
エンドユーザーへのサービス向上
- 複雑で大規模なシステムの資産管理も容易に

★IT機器の資産管理、配布運用管理  
にかかる時間とコストの低減  
★エンドユーザーへのサービス向上



# 初心者向けJP1 「JP1若葉道場」



JP1 *Version*  
8

株式会社 日立製作所  
ソフトウェア事業部